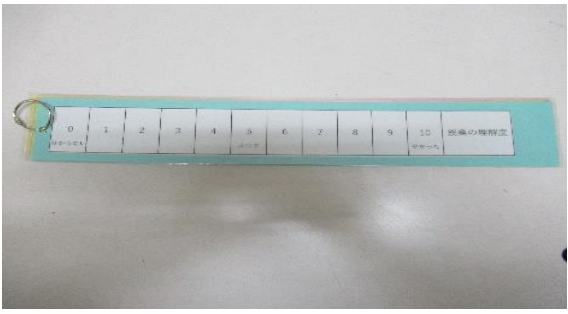


自作教具の活用事例

【作品名】 学習の理解度と今の気持ちの見える化	【学校名】 日立市立中小路小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動・全教科	【制作者名】 木村 安秀
【制作の意図】 学習の理解度や今の気持ちを言葉で表現することが苦手な児童に対して、自分自身の今の気持ちを可視化するだけでなく、伝えたい相手にも自分のことを理解してもらうために制作した。	【使用方法】 「授業の理解度」や「今の気持ち」等の5種類の項目について、スケールに0～10までの数値を児童に指で指し示してもらう。 その数値によって、今の児童の理解度や気持ち等を数値で見える化する。
【制作上の工夫】 「授業の理解度」「授業の楽しさ」「今の気持ち」「イライラの気持ち」「ねむさ」の5項目について、色分けしたスケールを作成した。 5項目のスケールは、ラミネートをしてリングでまとめることにより、利用しやすくなっている。	【見取り図】 B4サイズの5色の画用紙をラミネートしたものをリングでまとめる。  リング 5枚のラミネートしたシート
【写真】 【全体図】  【拡大図】  【材料・材質・部品等】 色画用紙 B4用紙 ラミネート リング	【使用効果と応用発展】 教師側は、児童の授業の理解度や今の気持ち等を理解することができる。 児童自身も、授業の理解度や今の気持ち等を数値で客観視することで、自己理解ができるようになる。 他にも「体調」や「空腹度」等、知りたい項について増やしていくことで必要に応じて、応用・発展していくことが可能である。